

第10回大阪圏ライフサイエンス推進協議会  
(議事要旨)

日 時:平成22年8月6日(金)

14:00～16:00

場 所:関西経済連合会29階会議室

1 開会

2 挨拶

内閣官房地域活性化統合事務局次長(以下、座長)より挨拶。

地域活性化統合事務局(以下、事務局)より、協議会の議事について、公開とする旨説明し、了承。

3 委員紹介、資料確認

4 協議会設置要綱の改正

事務局より、協議会委員の組織変更に伴う変更について説明し、了承。

5 進捗状況に関する報告

(1)関西全体の進捗状況報告(大阪府・大阪商工会議所)

- ・ 関西バイオ推進会議事務局より、基本構想に掲げる16のプロジェクトの進捗状況の報告。  
①のPJは「大阪バイオ戦略」として名称変更。また、②の「バイオ情報ハイウェイ」は①に統合。
- ・ 各PJの投入国費は平成13～21年度までの累計で3,132億円となっており、これまでの厚い支援に感謝したい。
- ・ バイオクラスター連携委員会の活動報告。海外においても関西は有力なバイオクラスターエリアであることの認識が広がってきている。
- ・ 関西バイオ推進会議とベルギーのバイオ関連組織であるフランダースバイオと協力提携覚書を締結した。フランス、オーストラリアに続き3番目の海外連携であり、締結前から過去8回のセミナーを実施してきた。
- ・ 覚書の内容は、企業間連携や産学官連携をはじめ医療機器分野での相互開発等、アライアンスの可能性を広げるものである。

(2)各プロジェクトの取組報告

①大阪府

- ・ 「大阪バイオ戦略」を中心に産学官オール大阪で取組を進めている。今年度の戦略はファンド組成や人材マッチング等を通じたバイオ関連ベンチャー支援等を進めていくもの。
- ・ 中小企業基盤整備機構のファンドスキームを活用して、約11億円規模の「大阪バイオファン

ド」を立ち上げた。今年7月に投資1号案件として、バイオ医薬分野への投資を行った。

- ・大学のポスドクや製薬企業のOB等、即戦力の人材をベンチャー企業と結びつけるバイオ人材マッチングを継続して行っている。
- ・治験の迅速化を目指すため治験ネットワークを構築し、「大阪治験ウェブ」を立ち上げる等の取組みを進めている。
- ・プロテイン・モール関西は、当初20社程度であった会員企業も現在は60社を超える企業が参画している。
- ・バイオ医薬品の製造支援拠点の整備の取組みについては、現在、近畿経済産業局等と共に勉強会を開催しているところである。
- ・彩都・中部地区は、平成 25 年度末にまちびらきを予定しているが、企業誘致ゾーンの30haには、30社を超えるエントリーがあった。
- ・総合特区制度の提案に関し、大阪府としては、バイオ分野において、彩都・神戸・けいはんなをバイオ産業医療エリアとして、関西全体での大きなポテンシャルを示した。また、彩都地区をグローバルなライフイノベーション拠点として、承認審査・調査機の大阪への配置等の拠点整備の提案を行っている。

## ②京都府

- ・関西学研都市メディカルコンプレックス構想プロジェクトを推進中。学研都市には、3月末現在で113の研究機関が立地している。
- ・「安心して出産できる環境整備や健康づくりに貢献」することをテーマとして、都市エリア産学官連携促進事業やレーザーによる光医療機器の開発等を行う光医療産業バレー構想等を推進している。
- ・昨年6月に京都府・京都市等で共同提案を行い、グローバル産学官連携拠点として、国に採択された。「低炭素社会」と「健康長寿社会」の実現を目指している。

## ③兵庫県

- ・県としては、兵庫県立大学に理学部を開設したほか高度産業科学技術研究所及び中型放射光施設ニュースバルの整備等、光科学分野に関連する研究施設等を集中的に整備してきた。
- ・Spring-8に隣接する地点において、2011 年度内の供用開始を目指し、X線自由電子レーザーの整備が進んでいる。
- ・神戸ポートアイランドにおいては、今年度中の一部稼働、平成 24 年 11 月の供用開始を目指し、次世代スパコンの整備を進めている。
- ・兵庫県COEプログラム推進事業は、研究の立ち上げ期への支援を行うもので、これまで95件の採択を行い、うち27件がライフサイエンス分野となっている。
- ・今後の取組みの方針としては、Spring-8、次世代スパコン等最先端の研究施設の連携・活用を促進し相乗効果を十分に発揮させたい。
- ・大型放射光施設 Spring-8を核として、光科学技術分野で世界トップレベルの研究を進めている。

#### ④奈良県

- ・ けいはんなヘルスケアクラスター形成のための研究プロジェクトは、「妊婦見守り」「泌尿器」「生活習慣病」の3本柱と医療用汎用SoCの作成を行っている。後者は、今年度が3カ年事業の最終年度であり、概ね仕様が固まってきた。
- ・ 健康関連産業の新事業展開プロジェクトは、今年度が5カ年事業の最終年度であり、生活習慣病の予防に吉野クズ等の植物素材を利用する研究を進めている。吉野クズについては、骨粗しょう症に効果があり、クズをそうめん練りに練りこんだ商品を開発中である。

#### ⑤滋賀県

- ・ 長浜バイオ大学、長浜サイエンスパーク、長浜インキュベーションセンターを中心として、学術研究基盤を核としたバイオ産業創出PJを進めている。
- ・ 長浜サイエンスパークについては、全6区画が全て埋まり、うち2社は操業を開始している。
- ・ 長浜インキュベーションセンターは、全17室が満室状態である。
- ・ 昨年度、長浜バイオクラスターネットワークという機関が推進団体として立ち上がっている。
- ・ 今年度、地域再生計画の認定を受け、「バイオサイエンスによる次世代成長産業の振興」として、農商工連携、医工連携、バイオマス関係を重点テーマとして、取組みをスタートさせている。

#### ⑥和歌山県

- ・ 「和歌山バイオ戦略」に基づき、新たな産業興しを進めている。
- ・ 昨年10月に「和歌山県新技術創出推進条例」を策定し、新技術の創出を県の責務として位置づけた。
- ・ 今年度4月に「産学官連携チームワークNO. 1を目指して」を旗印に「和歌山県産業技術基本計画」を策定した。
- ・ 企業側の研究開発を促進するために、県事業として、「先駆的産業技術研究開発支援事業」を設け、県内企業が保有する技術を活用し、先駆的産業分野を積極的に支援する方策をとっている。
- ・ 昨年、「地域イノベーションクラスタープログラム(都市エリア型)」が採択され、品種改良の促進、特産果実の加工の研究、健康機能成分の抽出等に尽力している。

#### ⑦徳島県

- ・ 文科省の事業として、「世界レベルの糖尿病研究開発臨床拠点」の形成を目指す「徳島健康・医療クラスター構想」を進めている。
- ・ 「健康・医療クラスター構想」は、機器類等の製品クラスター形成とサービス産業を巻き込んだサービスクラスター形成との二つの概念を持って推進している。
- ・ 医療観光も進めており、徳島大学病院での検診と徳島県の地域資源を活用したメニューを組み合わせて、上海から旅行エージェントやマスコミ等を招待してモニターツアーを実施し、今年の5月には旅行商品として初めてツアー客を受け入れたところである。

#### ⑧三重県

- ・「みえメディカルバレー構想」については、三重の中小企業や大学と連携し、事業展開すべく進めているところである。
- ・第2期実施計画のうち、「統合医療・予防医学を推進するための体制作り」に最も力を入れて取り組んでいる。うち、「みえ治験医療ネットワーク構築の推進」については、現在、県内116施設、機関が参画しており、数多くの治験を採り入れている。また、ベンチャー企業との連携をはかり医薬品、医療機器、食品までの治験ができる全国的にも珍しい組織として構築されている。
- ・国際交流については、ドイツや中国のバイオクラスター地域と連携を深めている。昨年度は三重大学と瀋陽薬科大学との提携が結ばれた。

#### ⑨大阪市

- ・大阪市立大学を中心として抗疲労に係る研究が進んできている。
- ・疲労クリニカルセンター慢性疲労外来は世界トップの慢性疲労外来受診者を記録している。
- ・疲労の定量化・数値化(バイオマーカー)の確立が進みつつある。
- ・今後の展開として、市として食品・医薬品の開発等の支援を行っており、具体的には抗疲労ドリンク「イミダペプチド240」が間もなく発売される予定である。
- ・今後、大阪市としては、イノベーションによる科学技術の推進を通じて、都市づくり、都市再生に積極的に取り組む方針であり、この4月から8月にかけて、科学技術振興担当の人員を3倍に増員した体制を構築している。

#### ⑩京都市

- ・京都バイオシティ構想のもと、医学と工学の融合分野、環境分野、地域資源を活用した分野を重点分野としている。
- ・医工連携については、昨年12月まで「ナノメディシン拠点形成の基盤技術開発」の取組みを進めてきた。今年度は「医工薬産学公連携支援事業」を行っている。
- ・環境分野については、バイオ材料の開発として、セルロースナノファイバーの研究を進めている。
- ・地域資源を活用した分野としては、バイオ計測・分析の取組を進めており、昨年度は研究会も立ち上げた。
- ・バイオベンチャーの育成・支援では、「クリエイション・コア京都御車」を立ち上げ、ほぼ満室状態となっている。
- ・今年度から、企業立地促進法に基づく地域企業立地促進等補助事業として経産省の支援をいただいている。

#### ⑪神戸市

- ・神戸医療産業都市構想の進捗状況について、「地域イノベーションクラスタープログラム」が大阪府との共同提案で採択されている。また「橋渡し研究支援推進プログラム」「先端医療開

発特区」等の大型PJを進めてきている。

- ・ 中核施設の整備状況については、中央市民病院の移転事業が来年7月移転予定で順調に進んでいる。これに合わせて「神戸国際フロンティアメディカルセンター病院(約200床予定)」、平成24年春に竣工予定である
- ・ 神戸ハイブリッドビジネスセンターは、このエリアで初めての託児施設を備えたものになる。
- ・ 次世代スパコンは、今年の10月から組み立て予定で、平成24年11月の本格稼働を目標としている。
- ・ 現在、ポートアイランドでは179社の進出が決まっている。
- ・ 総合特区制度については、先端医療の研究開発等の環境整備を中心としたものを提案していく予定である。

#### ⑫関西経済連合会

- ・ 「光医療産業バレー拠点創出事業」が正念場を迎えている。粒子線がん治療装置が非常に巨大かつ高価であるが、高強度レーザーによって発生する粒子線を導入することで、治療器を超小型化しコストも軽減することができる。
- ・ しかしながら、文科省からは再審査を受けることとされており、体制やロードマップを改めて整理し、報告書の提出を行ったところであるが、ビジネスとしての実現、発展を目指し事業継続させていきたいので政府関係省庁の方々には支援をお願いしたい。

#### ⑬近畿商工会議所連合会

- ・ 次世代医療システム産業化フォーラム2010を開催。医療現場の医療機器に関するニーズ・シーズのマッチングを狙いとしている。今年から神戸市が参加。
- ・ 今年度は62機関164社が参加し、67機関の共同開発案件が提示された。また、提案された場合のWG設置率は90%以上となっている。

#### (3)国側の報告

- ・ 内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省から、各府省におけるライフサイエンス関連支援施策及び関連予算等について紹介。

#### 6 主な意見

- ・ 【厚労省】各府県を特色を出して研究開発に取り組んでいると感じた。大阪圏がライフサイエンス分野で代表となるような地域になるべく我々も努力していきたい。

#### 7 その他

事務局より、総合特区制度についての制度概要と募集要項の紹介を行った。

#### 8 閉会

以上